

スクールポリシー

<教育方針>

進取と自由の伝統の下に、国際的視野に立って平和と人権を中核とする民主主義社会の充実発展に寄与する人格の育成をはかる。

【スクールポリシー】

教育方針の下、知識の修得のみに偏重した「変則」な教育ではなく、人間として広がりのある、豊かな人格と人間性を育む「正則」な教育を目指す。

それを実現するための具体的な3つの柱

①学習を軸にした高校生活の追求

学力をつけることを学校生活の軸にしつつ、クラブ活動、行事、学級活動にも一生懸命に取り組む、活気と充実感あふれる「本来の学校らしさ」を追求する。

②全ての生徒に進学学力をつける

「コース制」や「特進クラス」を設けず、全クラス「普通クラス」とし、入学時は同じスタートラインから勉強を始める。生徒は主体的に選択科目を受講し、最終的には一人ひとりが目指す進学学力をつけることを目指す。

③社会で生きていく力をつける

はじめのある生活の中で総合的な学力をつけ、また様々な課外活動・行事・学級活動を通して、自己を知り、他者を知り、共に高めあう中で、社会で生きていく力を培う。

【グラデュエーションポリシー】

①平和と民主主義

憲法に定める主権在民の精神を体得し、民主主義を自覚、尊重、実践し、すすんで平和を愛する人間を育てる。

②主権者意識と国際連帯意識

主権者としての正しい自覚を持ち、世界のすべての人々との連帯意識を身につけた人間を育てる。

③集団の一員としての正しい生き方

集団の一員として、自己及び社会の正しい在り方を自覚的に追求し、主体的に行動する人間を育てる。

④健全な体力と科学的創造的精神

健全な体力を備え、自然や社会を正しく認識する科学的合理的的精神を持ち、発展しつつある現代社会に即応できる基礎学力を身につけた人間を育てる。

⑤個性と豊かな情操

自己の能力及び可能性を追求し、豊かな個性と情操を身につけた人間を育てる。

【カリキュラムポリシー】

①「生きた学力」のベースとなる基礎学力をしっかりと身につける

「生きた学力」を「社会を見据える力」「社会の中でより良く生きていく力」と捉え、全員が受講する共通授業を通して、将来にわたって学ぶためのベースとなる基礎学力を身につけていく。

「学習」に到着駅はありません。学習していくということは、高校を卒業した後も、生涯を通じて追及していく課題に違いありません。正則の共通授業は、将来どんな分野に進もうとする人であっても是非身につけておく必要がある、という内容で構成されています。

知識とは、物事を考えたり何かについて判断したりするときの基礎となるものです。ただし、知識はただありさえすればよいというものでもなく、それを積極的に活用していくことではじめて、物事を見つめたり、考えていく時の「役立つ知識」になっていきます。こうした営みが自分の生きる「社会を見据える力」、そして、「社会の中で自分のより良い生き方を模索していく力」につながっていくはずで、このような「生きた学力」を身につけていくことを大事な柱にしています。

②自分の関心や問題意識から、自分の進む道を見据えた深い学力をつける

・「教科学習」と「総合学習・進路プログラム（探究学習、体験学習、学習旅行等）」を有機的に関連させて学ぶことで、様々な体験や学習から呼び起こされた自分の関心・問題意識を学びの推進力に換えていく。

・選択授業を大幅に取り入れ、自分の学力や進路希望に即した授業を受講することを通して、進路実現のための進学学力を伸ばしていく。

高校では、近い将来に社会に出ることを視野に入れた学習が必要です。自分の関心や問題意識を出発点にして、共通授業の土台の上に2年から始まる選択科目の授業をはじめ、長期休みの集中講座、学習メンタープログラムを活用して積極的に学習を進めていくことが不可欠です。選択授業では、自分の目指したい進路を実現するために、大学入試を念頭に置いた進学学力を伸ばしていくカリキュラムが構成されています。「机の上の学習」と「机の外の学習」の両方を進めて力を伸ばしていけばいくほど、今まで触れることのなかった世界に足を踏み入れるような、より自分を活かしていける確かな道が鮮明に見えてくるはずで、

③他人としっかりつながって生きていける力をつける

「協同学習」に取り組むことで他者との協力・共同の経験を積み、異なる意見や見解に触れることを通して自分自身の認識を耕し、「確かな自分」をつくっていく。

正則高校の授業では、教員が一方向的に講義・解説をするだけでなく、グループ形式を用いるなどして生徒同士が話し合い、考え合い、学び合う「協同学習」を多く取り入れています。そうした中で、「自分はこう理解したけど、それで間違っていない?」「自分はこう考えたのだけれど・・・別の見方や意見があるのか・・・」など、学習内容に反応して自分が感じたことや考えたことを仲間同士で吟味していきます。そういう心や頭の働きが活発であればあるほど、学習は進んでいくのです。

【アドミッションポリシー】

- ①教育方針、教育目標を理解し、それに共感しつつ自ら成長しようとする生徒
- ②中学校での学校生活にけじめをつけつつ積極的に取り組み、出欠席の状況が良好である生徒
- ③様々な行事や体験を通じ、集団の中で他者と関わり合いながら「社会で生きる力」を育むための土台となるような前向きな姿勢と学ぶ意欲のある生徒